

シンポジウム「地盤沈下の現状から見る今後の地下水管理」開催報告

シンポジウム実行委員会
企画委員会

2013年12月1日（日）に、日本大学文理学部百周年記念館国際会議場において、シンポジウム「地盤沈下の現状から見る今後の地下水管理」を開催しました。

本シンポジウムは、シンポジウム「地盤沈下の現状から見る今後の地下水管理」実行委員会と企画委員会が主催し、公益社団法人地盤工学会、日本水文科学会、一般社団法人水文・水資源学会、一般社団法人全国地質調査業協会連合会に後援いただきました。

シンポジウムでは、講演者の方々によって、昭和40年代の高度経済成長期に臨海沖積平野を主とした各地で発生した広域地盤沈下を沈静化させるために実施された揚水規制の効果が示されました。また、広域地盤沈下が沈静化するにつれて、過剰揚水によって著しく低下していた地下水頭が回復してきた状況も示されました。そして、このように地下水頭が上昇した地域における地下水の適正利用について、講演者とシンポジウム参加者が活発に議論しました。

シンポジウムの参加者は94名で、講演者は、環境省、国土交通省、愛知県、独立行政法人産業技術総合研究所、大学に所属される方々にお願いしました。

シンポジウムのプログラムを以下に紹介します。

- | | | |
|-------------|------------------------------|-----------------|
| 13:00～13:05 | 開会の挨拶 | 今村 聡 副会長 |
| 13:05～13:35 | わが国の広域地盤沈下対策と地下水の適正利用について | 上田健二（環境省） |
| 13:35～14:35 | 地盤沈下防止等対策要綱対象地域の現状 | |
| | 1) 濃尾平野の地盤沈下対策と地下水管理の現状 | 大東憲二（大同大学） |
| | 2) 筑後・佐賀平野の地盤地下と地下水管理の現状 | 内田洋平（産業技術総合研究所） |
| | 3) 関東平野北部の地盤沈下の現状 | 守田 優（芝浦工業大学） |
| | （休憩） | |
| 14:50～15:20 | 日本の地下水の現状と課題 | 吉田成人（国土交通省） |
| 15:20～15:50 | 地盤沈下が沈静化した後の地下水管理のあり方 | 徳永朋祥（東京大学） |
| | （休憩） | |
| 16:05～16:55 | 地下水の揚水規制と有効利用に関するパネルディスカッション | |
| | コーディネーター | 徳永朋祥（東京大学） |
| | パネリスト | 上田健二（環境省） |
| | | 吉田成人（国土交通省） |
| | | 畔柳豊秀（愛知県） |
| | | 大東憲二（大同大学） |
| 16:55～17:00 | 閉会挨拶 | 中島 誠 企画委員長 |

本シンポジウムでの議論を通して、広域地盤沈下を発生させるような過剰揚水は規制しなければなりません。広域地盤沈下が沈静化して、地下水頭が上昇している地域では、適正な地下水管理を行えば、貴重な水資源である地下水を有効に利用できることが示されました。

なお、本シンポジウムの内容は、学会誌に特集として掲載される予定です。



シンポジウム会場聴講者の質問



パネルディスカッションのパネリスト